

## カムチャツカ半島地震に伴う各種行動

北部方面隊(總監井土川陸將)は、令和7年7月30日(水)午前8時25分頃、ロシア極東のカムチャツカ半島付近で発生した地震により北海道各地に発出された津波警報に際し、情報収集を行いました。方面隊は、直ちに初動対処部隊を派遣し、各津波到達予想地域の被害状況の確認を行いました。

航空偵察においては、北部方面航空隊(隊長安達一佐)、北部方面通信群(群長宮本一佐)及び各師団飛行隊が、航空機を迅速に離陸させ、へりによる映像伝送により、津波の到達状況を確認・報告しました。

地上偵察では、各師団旅団の偵察隊等が、それぞれ各地域に前進し、海岸線の監視活動を行うとともに地上映像伝送により確認・報告しました。

また、各市町村に派遣された連絡幹部は、それぞれの自治体担当者と調整を行い、住民の状況を把握して支援できる態勢を整えました。

特に標準分屯地(司令阿部2佐)においては、分屯地を避難場所として開放し、地域住

万が一に備え情報収集及び派遣の準備

民約500名を受け入  
れました。  
津波警報及び注意報  
は31日(木)解除となり  
道内に大きな被害が発  
生することなく方面隊  
は通常の勤務態勢に移  
行しました。  
引き続き方面隊は災  
害に対して迅速に行動  
し道民の皆様が安心  
して生活できるよう活  
動していきます。



潮位変化の確認（釧路市）

海岸線の確認（根室市）

発行：北部方面総監部広報室

避難住民の受入 (標津分屯地)

自治体からの非常食受領（標津分屯地）

A photograph of a UH-1 helicopter on a tarmac. A person is standing to the right of the helicopter. The background shows a clear sky and some distant structures.

離陸するUH-1（丘珠駐屯地）



海岸線の空撮（苫小牧市）



潮位変化の確認（釧路市）

発行：北部方面総監部広報室



海岸線の確認（根室市）

## 関係部外機関との連携強化

北部方面隊海溝型地震対処演習  
「カムイガーディアン」機能別訓練

方面隊は、「海溝型地震対処能力の向上」及び「関係部外機関との連携強化」を目的として、令和7年度を通じて、北部方面隊海溝型地震対処演習「カムイガーディアン」(※1)を実施しております。来年の総合訓練に向けた機能別訓練の一環として、北海道主催の北海道防災総合訓練及び内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練に併せて、関係機関と連携した訓練を実施しました。

8月の訓練では、北海道庁内に方面隊の方面連絡調整所を開設し映像伝送、北海道防災情報システム等を活用した

た病院から安全な病院へ後送するとの想定のもとと車両による搬送を行いました。

来年、方面主催で実施するカムイガーディアン総合訓練に向け、北海道主催の原子力防災総合訓練(10月)、国土交通省(北海道開発局)主催の大規模津波災害防災訓練(11月)、北海道主催の北海道防災総合訓練(後段)(翌年2月)に併せた機能別訓練を実施し、引き続き、対処能力向上及び関係機関との連携強化を図ります。

方面隊は、引き続き国民・道民の皆様の平和な暮らしを守るため万全を期して参ります。

## カムイガーディアンにおける各訓練の位置付け

| 区 分       | 機能別訓練                              |              |                    |                     |                              | 総合訓練                                   |
|-----------|------------------------------------|--------------|--------------------|---------------------|------------------------------|----------------------------------------|
|           | 北海道防災総合訓練(前段)                      | 大規模地震時医療活動訓練 | 北海道庁庁内防災総合訓練       | 大規模津波災害防衛訓練         | 北海道防災総合訓練(後段)                |                                        |
| 時 期       | 8月27日(水)                           | 9月6日(土)      | 10月29日(水)          | 11月2日(水)            | 1月下旬                         | 1月下旬・2月上旬                              |
| 主 催       | 北海道庁                               | 内閣府          | 北海道庁               | 北海道庁関係局             | 北海道庁                         | 北海道庁関係局                                |
| 場 所       | 後志管内                               | 室蘭・日高・渡島     | 後志管内               | 釧 路                 | 樺山管内                         | 札幌、道東 等                                |
| 位 置 付     | 道庁、多数の関係機関、海空自らの連携                 | 医療機関との連携     | 津波被害と原子力災害との複合事態対応 | 津波被害に対する関係局等との連携    | 厳冬期における道庁、多数の関係機関、海空自らの連携    | 厳冬期における道庁、多数の関係機関、海空自らの連携              |
| 主 要 訓練 内容 | ○ システム運用による情報収集及び共有<br>○ へじ、地・映像伝送 |              | 北海道DMATと連携した傷病者輸送  | ○ 原子力災害対応<br>○ 住民避難 | ○ へじ映像伝送<br>○ 道路啓蒙<br>○ 炊事支援 | ○ 住民避難<br>○ 避難所運営<br>○ 食料所運営<br>○ 災害訓練 |

8月27日  
北海道防災総合訓練



によるヘリの誘導  
(北部方面航空隊)



北海道防災情報システムによる情報共有



患者搬送(渡島地区)



DMAT の空輸(室蘭地区)

※1 訓練名称：カムイガーディアン アイヌ語で「神」を表す「カムイ」と災害から道民を守る「守護者」を表す「ガーディアン」を組み合わせ、過酷な災害から道民を救助する北部方面隊の誇り・強靱さを表現し、訓練名称としたものです。

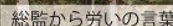
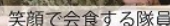
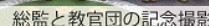
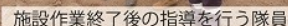
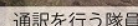
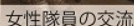
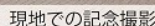
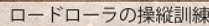
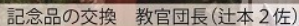
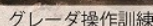
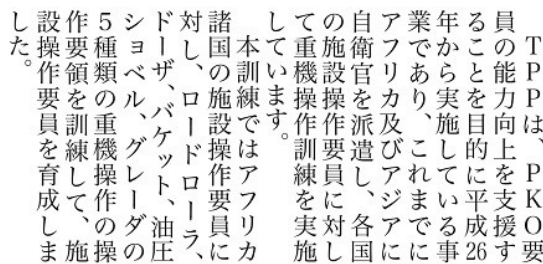
※2 DMAT: Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム

## 重機操作の教育

無事に任務を遂行した教官団は、8月26日(火)札幌駐屯地において、帰国報告を実施しました。

方面隊は引き続き、国際安全保障環境の構築に寄与してまいります。

方面隊は引き続き、国際安全保障環境の構築に寄与してまいります。

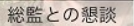
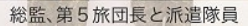
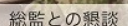


政府全体の取り組みへの寄与

方面隊は、令和7年8月6日（水）、札幌駐屯地において、中国遺棄化学兵器処理事業に要員として派遣される第5化学防護隊（第5旅団（旅団長 岸良陸将補）の派遣隊員出国報告を行いました。本派遣は、化学兵器禁止条約に基づく遺棄化学兵器を廃棄処理するための政府全体の取り組みにおいて、同事業を担当する内閣府（遺棄化学兵器処理担当室）に化学・弾薬を専

門とする職員を出向させて派遣し、知見の提供や技術支援などの協力を行うものです。派遣隊員は、現地において埋没している遺棄化学兵器の発掘・回収・梱包の過程における発掘企業への技術支援及び専門的見地からの助言等を行い、政府の取り組みに寄与します。

方面隊は、引き続き国際安全保障環境の構築に寄与してまいります。



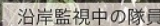
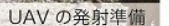
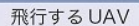
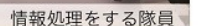
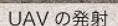
情報収集能力の向上を図る

の警戒監視及び識別を  
実施し、迅速・確実な  
情報収集、処理を演練  
しました。

また、北方警備地域  
における初のUAVの  
生地飛行による洋上・  
沿岸部での情報収集を  
実施し、UAV飛行練  
度の向上を図りました

に俟る各種行動について練度向上を図るとともに、情報運用の実効性向上を目的として実施したものです。

第2師団は、沿岸監視部隊を各地域へ展開させ、レーダ等を使用した沿岸監視網を構成して接近する船舶等へ



# 令和7年度水際障害構成訓練

## 水際障害構成能力の向上

方面隊は、令和7年7月27日(日)から9月2日(火)までの間、天塩町トコナイ川周辺の海岸地域における訓練場において、第3施設団隷下の第13施設群(群長橋本1佐)を基幹部隊とし、水際障害構成能力を向上させることを目的に、水際地雷の敷設準備から海上敷設までの一連の行動について訓練を実施しました。

効性と水際障害構成の練度を向上させることができました。



水際地雷の点検

特に水際地雷原の構成における協同部隊との調整の場面では、障害構成要領及び障害と火力の密接な連携要領について調整し、運用の実

力を向上させることができました。また、今年度から定年制の隊員も初めて参加し、自身の気になった企業から概要説明を聞く等、積極的な姿勢で参加していました。

本訓練は水際地雷敷設車による水際地雷原の構成(ヘリコプターによる水際地雷の敷設等)の行動を演練し、協同部隊として訓練に参加した第1特科団(団長井上陸将補)と、北部方面航空隊(隊長安達1佐)及び第2対舟艇対戦車中隊(中隊長小島3佐)を含めた部隊の練度を向上させることができた。



設置する障害物の空輸



進水する水際地雷敷設車



水上を航行する水際地雷敷設車

# 令和7年度自衛隊新卒等合同企業説明会

## 自衛官の第2の人生のために

自衛隊札幌地方協力本部(本部長 栗田1佐(当時))は、令和7年7月14日(月)札幌コンベンションセンターにおいて、令和7年度自衛隊新卒等合同企業説明会を実施しました。

本説明会は、自衛隊援護協会の主催により、雇用企業が令和8年9月までに任期満了予定の任期制隊員(主に20代)を対象に企業説明及び質疑応答を行い、隊員の具体的な再就職準備を円滑にさせることを目的として実施しているものです。

また、今年度から定年制の隊員も初めて参加し、自身の気になった企業から概要説明を聞く等、積極的な姿勢で参加していました。今回の説明会においては、札幌地方協力本部管内外あわせて任期制隊員74名、定年制隊員の106名が参加するとともに、企業側も隊員のニーズ等を踏まえた道内外企業、警察、海上保安庁等の公的機関等を含め、計349社が参加し、退職自衛官の人氣、評価の高さが伺えました。



真剣な表情の任期制隊員



企業の説明を受ける定年制隊員

# 着任部長紹介

北部方面指揮所訓練支援隊長  
1等陸佐 萱沼 文洋

前職 昭和51年生 東京都出身  
第39普通科連隊長



北部方面總監部幕僚副長  
陸将補 大塚 慎太郎

前職 昭和51年生 東京都出身  
内閣官房 国家安全保障局



第3施設団長  
陸将補 天内 明弘

前職 昭和50年生 青森県出身  
陸上幕僚監部 人事教育計画課長



第1高射特科団長  
陸将補 青木 秀敏

前職 昭和46年生 福井県出身  
第15旅団 副旅団長



札幌地方協力本部長  
1等陸佐 瀬田 晃一郎

前職 昭和46年生 福岡県出身  
総務部長



美唄駐屯地業務隊長  
2等陸佐 金子 智和

前職 昭和53年生 神奈川県出身  
第15ヘリコプター隊 第3科長



倶知安駐屯地業務隊長  
2等陸佐 石田 秀伸

前職 昭和45年生 熊本県出身  
北部方面總監部 装備部整備課



真駒内駐屯地業務隊長  
1等陸佐 萩森 泰聡

前職 昭和49年生 愛媛県出身  
第5施設群長 高田駐屯司令



北部方面対舟艇対戦車隊長  
2等陸佐 田中 保和

前職 昭和46年生 神奈川県出身  
第1空挺団本部 第1科長



北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。チャンネル登録及びグッドボタンをよろしくお願いします。

YouTube

Instagram

Facebook

X

HP



ユーチューブ



インスタグラム



フェイスブック



エックス



ホームページ



## 令和7年度自衛官等採用案内



| 種 目                              | 採用人員                                                                                 | 資 格                                                                                             | 受付期間<br>(締切日必着)                            | 試験期日                                                      |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 一 般 曹 候 補 生                      | 参考(令和6年度)<br>陸:約4,900名<br>(うち女子約500名)<br>海:約1,800名<br>(うち女子約290名)<br>空:約1,400名<br>※1 | 18歳以上33歳未満の者<br>(32歳の者は、採用予定月の<br>末日現在、33歳に達して<br>いない者)                                         | ①9月16日～11月21日<br>※4                        | ①1次:11月29日12月4日<br>2次:令和8年1月6日13日<br>※いずれか1日を指定されます<br>※5 |
| 自 衛 官 候 補 生                      | 参考(令和6年度)<br>陸:約2,890名<br>(うち女子約750名)<br>海:約900名<br>(うち女子約200名)<br>空:約1,200名<br>※1   | 18歳以上33歳未満の者<br>(32歳の者は、採用予定月の<br>末日現在、33歳に達して<br>いない者)                                         | 年間を通じて<br>行っております                          | 受付時又は各自衛隊地方<br>協力本部のホームページ<br>にてお知らせします。<br>※5            |
| 医 科 ・ 歯 科 幹 部                    | 参考(令和6年度)<br>陸:約4名<br>海:約1名<br>空:約1名<br>※1                                           | 医師・歯科医師の免許取得者                                                                                   | ②7月29日～10月23日<br>※3                        | ②11月14日                                                   |
| キ ャ リ ア 採 用 幹 部                  | 陸:約15名<br>海:約20名<br>空:約25名<br>※1                                                     | 大卒以上の者で、応募資格に<br>定められた学部・専攻学科等を<br>卒業後、2年以上の業務経験の<br>ある者                                        | ②(陸)空<br>8月1日～10月10日<br>(空)9月16日～11月14日    | ②(陸)10月31日<br>(空)11月4日～6日                                 |
| 技 術 曹                            | 陸:約58名<br>海:約30名<br>空:約30名<br>※1                                                     | 20歳以上の者で国家免許<br>資格取得者等                                                                          | ②(陸)8月1日～10月10日<br>(空)9月16日～11月14日         | ②(陸)11月10日<br>(空)12月3日～5日                                 |
| 防衛大学校学生 一 般                      | 参考(令和6年度)<br>人文・社会科学専攻 約45名<br>(うち女子約10名)<br>理工学専攻 約195名<br>(うち女子約30名) ※1            | 18歳以上21歳未満の者<br>(自衛官は23歳未満)<br>高卒(見込)又は高専<br>3年次修了(見込)                                          | 7月1日～10月16日                                | 1次:11月1日<br>2次:11月29日～12月3日<br>※いずれか1日を指定されます             |
| 防衛医科大学校医学科学生                     | 参考(令和6年度)<br>約85名<br>※1                                                              | 18歳以上21歳未満の者<br>高卒(見込)又は高専<br>3年次修了(見込)                                                         | 7月1日～10月8日                                 | 1次:10月25日<br>2次:12月6日・7日<br>※いずれか1日を指定されます                |
| 防衛医科大学校看護学科学学生<br>(自衛官候補看護学生)    | 参考(令和6年度)<br>約75名<br>※1                                                              | 18歳以上21歳未満の者<br>高卒(見込)又は高専<br>3年次修了(見込)                                                         | 7月1日～10月3日                                 | 1次:10月18日<br>2次:12月17日～19日<br>※いずれか1日を指定されます              |
| 陸 上 自 衛 隊 推 薦<br>高等工科学学校 生 徒 一 般 | 参考(令和6年度)<br>約120名<br>※1                                                             | 男子で中卒(見込)かつ<br>17歳未満の者<br>生徒生活協等に顕著な実績を<br>修め、学校長が推薦できる者                                        | 10月1日～11月28日                               | 令和8年1月10日～12日<br>※いずれか1日を指定されます                           |
|                                  | 参考(令和6年度)<br>約230名<br>※1                                                             | 男子で中卒(見込)かつ<br>17歳未満の者                                                                          | 10月1日～<br>令和8年1月15日                        | 1次:令和8年1月24・25日<br>2次:令和8年2月12日<br>～15日<br>※いずれか1日を指定されます |
| 自 衛 隊 奨 学 生                      | 参考(令和6年度)<br>陸<br>海<br>空<br>約40名<br>※1                                               | 大学、大学院、高等専門学校等<br>で理学、工学、文学又は法学<br>※2を専攻しており、正規の<br>課程を修了する年の4月1日<br>現在で26歳未満<br>(大学院在学者は28歳未満) | ①6月3日～10月10日<br>②12月1日<br>～令和8年1月30日<br>※3 | ①11月8日・9日<br>②令和8年2月21日                                   |

- (注) 1. ※1:令和7年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。  
2. ※2:理学、工学、文学又は法学に類する学部・学科も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛隊協力本部にお問い合わせください。  
3. ※3:採用予定人員数の採用が見込まれる場合は、第2回目以降の試験を実施しません。  
4. ※4:第1回及び第2回までで採用人員数を満たした場合は、第3回は実施しない場合があります。  
5. ※5:令和8年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、令和7年9月16日以降に行います。  
6. 資格欄中の「高卒」は中等教育学校卒業生を含みます。  
7. 応募資格年齢の起算日は、種目ごと異なっていますので、それぞれの採用要項又は自衛官募集ホームページ等で確認してください。  
8. その他、詳細については、各採用(募集)要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。(事務官・技官の採用試験については、防衛大臣官房秘書課へお問い合わせください。)  
9. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

詳しくはQRコードまたは電話までお問い合わせください。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)5882



函館地方協力本部  
0138(53)6241



自衛官募集 X

第237回

## ～心の健康相談室～

## 人生に潤いを与える言葉

わた だん えんかつ きしゅ  
世に涉るに、段の円活の機趣なければ、  
すなわ ぼくじん  
便ちこれ個の木人にして、  
さわ  
処々に碍りあり。

(「菜根譚」前集・149)

えんてんかつ  
これは、「世渡りをするには、円転滑脱の心得がなければ、  
ただ一個の木で作った人形(木偶)と同じで、到處で障害  
ばかり多くある」というのです。

つまり、＜臨機応変＞に対処することの大切さを述べている  
のではないのでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄



パンフレットは  
こちらから



**FOR**

給料UP! 変如自衛官の 変如自衛官の 魅力UP!

環境UP! やりがいUP!

**陸海空 自衛官**  
JGSDF・JMSDF・JASDF

自衛官の募集、生活・勤務環境の改善については  
パンフレットに詳しく掲載しています!!!

▼▼▼ お近くの地方協力本部へお問い合わせください ▼▼▼

札幌地方協力本部 旭川地方協力本部 帯広地方協力本部 函館地方協力本部  
TEL:011-631-5472 TEL:0166-51-6060 TEL:0155-23-5882 TEL:0138-53-6241  
FAX:011-631-5473 FAX:0166-51-6061 FAX:0155-23-5883 FAX:0138-53-6242  
E-MAIL:info@jgsdf.mil.jp E-MAIL:info@jmsdf.mil.jp E-MAIL:info@jasdf.mil.jp E-MAIL:info@jgsdf.mil.jp

**JAPAN!!!**

## 自衛官等の処遇改善

## 一般曹候補生

初任給 **UP**  
(高卒)  
**224,600円**  
(大卒)  
**239,600円**

※自衛官候補生の場合、入隊から  
3か月は179,000円となります。

## 自衛官候補生

陸上・海上・航空要員の併願が可  
能になりました。

指定場所生活調整金 **New!**  
管内又は艦艇内に居住する限り、採用から6年経過す  
るまでの間、新たに1年ごと20万円(総額120万円)  
が支給されます。

自衛官任用一時金 **UP**  
**344,000円**  
※入隊から約3か月後、自衛官候補生から自衛官に  
なったときに支給されます。

## 防衛大学校学生

学生手当として  
月額 **151,300円**を支給  
期末手当:年2回(6月、12月)

## 陸自高等工科学学校生徒

生徒手当として  
月額 **138,000円**を支給  
期末手当:年2回(6月、12月)

## 自衛隊奨学生

学資金として  
月額 **80,000円**を支給

★一定期間の勤務で返済免除!  
★他の奨学金と併用可能!  
★成績基準・所得制限・地域制限なし!  
★卒業(修了)後は一般幹部候補生として採用!